

基本理念

足立区教育大綱（案）

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

前文

… — 誰もが子どもを支える主役 — …

教育大綱は、これからを生き、将来社会の支え手となる子どもたちをどのように育てあげるか、という区の教育に関する基本的な姿勢を示すものです。

教育の使命は、「学び」^{注1}の意欲と自己効力（肯定）感^{注2}を喚起し、社会的な自立と自他の幸福を実現できる力を育むことにあります。さらに培われた力が個人に留まることなく、次世代の子どもたちの成長を促す力として活用される循環を生み出すことも重要です。これらを実現していくため、家庭・学校・地域のみならず、社会全体で連携を密に、総ぐるみで子どもを支え、育てあげていく仕組みを整えます。

… — 貧困の連鎖を断ち切る教育 — …

治安・学力・健康といった区のボトルネック的課題に深く関わり、負の連鎖を生み出す元となっている「貧困」。世代を超えて連鎖する深刻な貧困を断ち切るために重要な役割を果たすのが「教育」です。自身の将来に夢や希望を見出せないといった厳しい環境にある子どもたちに対しては、そこから脱出し、自立して生き抜く力を育むことのできる様々な機会を繰り返し提供し、個人に寄り添った丁寧な支援を行います。

様々な学びを通じて、夢や希望を信じて生き抜く人づくり。これが区の教育の原点です。

注 1）ここで言う「学び」とは、「生きる力」（①確かな学力、②豊かな人間性、③健康と体力）を培うことを意味します。また、確かな学力とは、知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたものを意味します。

注 2）自己効力感とは、自らが社会や身の回りを変える力があると認識することで、自身が役立っていると感じることを意味します。

世代別理念

【子ども専門部会追加資料】

乳幼児期

様々な出会いやかかわりを通じて、
たくましく成長するための素地をつくる

生涯にわたり人間形成の基礎を養う大切な乳幼児期。密接にかかわりを持つ大人たちからの深い愛情、様々な出会い、かかわりあいを通じて、子どもたちが自己肯定感を培う時期です。

そこで、豊かな感性や意欲を育み、できる喜びを自信に変えていくとともに、基本的な生活習慣をしっかりと身につけ、学びの基礎を固めていきます。また、家庭、保育園・幼稚園・こども園、地域等が互いに子どもたちを支え、見守りながら、青少年期に向けて心も体もたくましく育てていける仕組みづくりを進めていきます。

世代別理念の説明文

青少年期

ともに歩み、磨きあいながら、
自身の道を切り拓く力を培う

成人期に向け自立する力を培う青少年期。旺盛な好奇心のもと、希望や意欲を持って行動し、様々な経験を重ねる中で、基本的な知識やそれを活用できる思考力やコミュニケーション能力を培う時期です。

そこで、子どもたちが将来への夢や希望の実現に向けて、広い視野や考えをもつために、多くの友人たちと切磋琢磨し、学校や地域活動などで多様な人々とかかわることができる環境を整えます。また、生活環境に左右されることなく、同じスタートラインに立てるよう、機会を平等に提供していきます。さらには、夢や希望の実現をめざし、自らが学び、考え、課題を克服し、人生を切り拓いていく力を身につけるため、学校、家庭、地域等の連携を一層強め、それぞれが持つ教育機能を最大限発揮できる仕組みづくりを進めていきます。

成人期

自ら学ぶとともに、
その経験を社会に還元する意欲を育てる

社会的・経済的に自立する成人期。学びの意欲を失うことなく、これまで積み重ねてきた自身の幅広い経験を元に、学びの成果を社会生活や地域づくりなどに還元し生かす時期です。

そこで、生きがいを持ち、意欲的に学び続けるための様々な機会や場を提供していきます。また、子どもたちの未来のために地域の支え手として活躍できる仕組みづくりを進めていきます。